

# グッドステージレポート

Good  
Stage  
投資型年金  
グッドステージ  
新変額個人年金保険

2024年2月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



東京海上日動あんしん生命

## ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

### ■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

#### ご注意

リバランス（定期的に積立金の配分を自動調整する機能）の指定割合を変更いただくには、「リバランスの設定・解除」のお手続きも必要です。

### ■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	日本株式（A）	会社受付日
	日本株式（B）	
	日本株式（D）	
債券型	世界株式（A）	会社受付日の翌営業日
	世界債券（A）	
総合型	世界バランス（A）	
金融市場型	マネー（A）	会社受付日

### ■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

#### ●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。

お手続きが可能な時間：9：00～21：00

会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 14：59までに受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：00以降に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

（注）土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

（※）ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

#### ●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

種類	特別勘定の名称	掲載ページ
株式型	<b>日本株式(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2 <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.353%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約169.4億円	3p
株式型	<b>日本株式(B)</b> ■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・バリュー株・オープンVA(底力VA) <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.309%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約16.6億円	4p
株式型	<b>日本株式(D)</b> ■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・ジャパン・オープンVA(D.J.オープンVA) <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.309%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約2.9億円	5p
株式型	<b>世界株式(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：大和住銀／T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA <input type="checkbox"/> 運用会社：三井住友DSアセットマネジメント <input type="checkbox"/> 投資顧問：ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.485%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約48.6億円	6p
債券型	<b>世界債券(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：JDFワールド・ボンド・ファンドVA <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.078%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約5.9億円	7p
総合型	<b>世界バランス(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・バランス・ファンドVA2 <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：最大年率1.35%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約5.8億円	8p
金融市場型	<b>マネー(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：マネー・オープン他 <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：各月ごと <sup>*2</sup> に決定	9p

※残高は2023年11月末現在

\*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。  
また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

\*2 各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.55(税込)を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年0.99%(税込)を超える場合には、年0.99%(税込)の率とします。

## 特別勘定について

## 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

【投資対象となる投資信託】

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2

## ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 1月31日	217.85	—
2023年 1月31日	212.47	4.72%
2月28日	212.58	0.05%
3月31日	218.18	2.63%
4月30日	223.20	2.30%
5月31日	230.09	3.09%
6月30日	242.28	5.30%
7月31日	242.78	0.21%
8月31日	242.53	-0.10%
9月30日	236.44	-2.51%
10月31日	228.90	-3.19%
11月30日	241.22	5.38%
12月31日	240.83	-0.16%
2024年 1月31日	254.42	5.64%
3ヶ月変化率		11.15%
6ヶ月変化率		4.79%
1年変化率		19.74%
3年変化率		16.79%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	321	2.3%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA2	13,430	97.7%
その他	—	—
資産合計	13,752	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	13,752	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

## フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

## 運用状況

## ■市場別構成比 (2023.12末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.0%
東証スタンダード	2.2%
東証グロース	0.4%
その他市場	—
現金・その他	1.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

## ■上位5業種構成比(2023.12末現在)

業種	構成比
1 電気機器	20.8%
2 化学	8.8%
3 銀行業	7.4%
4 情報・通信業	6.8%
5 機械	6.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

## ■組入上位10銘柄 (2023.12末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 キーエンス	電気機器	3.6%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.4%
3 東京エレクトロン	電気機器	3.2%
4 信越化学工業	化学	3.0%
5 伊藤忠商事	卸売業	3.0%
6 ソニーグループ	電気機器	2.9%
7 日立製作所	電気機器	2.8%
8 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.7%
9 オリエンタルランド	サービス業	2.1%
10 村田製作所	電気機器	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 184)

## 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.1末現在)

当月の東京株式市場は、円安ドル高の進行や米国株の好調な動きなどが支援材料となり、バブル経済崩壊後の高値を更新する展開が続きました。年初は軟調に始まりましたが、その後は世界的に半導体需要の拡大期待が強まる中で関連銘柄が牽引役となり、力強く上昇しました。円安進行や日本企業のガバナンス改革に対する期待などが追い風となる中、海外投資家からの資金流入が継続し、連日のようにバブル経済崩壊後の高値を更新する展開が続きました。相場の過熱感が意識されて月半ば過ぎに上値が重くなったものの、台湾の半導体大手から強気の売上見通しが発表されると、半導体関連株が主導する形で再び上昇し、日経平均株価は約33年11か月ぶりに36000円台を回復しました。その後は利益確定売りなどにやや押されましたが、米国経済の軟着陸観測が強まる中で米国株の高値更新が続いたことや、2023年10-12月期の決算発表で堅調な業績が確認されたことなどが押し上げ要因となって反発し、TOPIXは1990年2月以来となる高値を更新して月を終えました。月間の騰落率は、TOPIX (配当込) が+7.81%、日経平均株価は+8.43%でした。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式 (B)

(2024年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の上場株式および店頭登録株式の中から、取得時にPERおよびPBR等の指標または株価水準からみて割安と判断され、今後株価の上昇が期待される銘柄に投資します。

【投資対象となる投資信託】

ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA)

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 1月31日	140.84	-
2023年 1月31日	163.44	3.42%
2月28日	165.86	1.48%
3月31日	166.30	0.27%
4月30日	169.74	2.07%
5月31日	176.87	4.20%
6月30日	191.65	8.36%
7月31日	195.08	1.79%
8月31日	198.90	1.96%
9月30日	201.54	1.33%
10月31日	194.45	-3.52%
11月30日	203.31	4.56%
12月31日	202.13	-0.58%
2024年 1月31日	217.52	7.61%
3ヶ月変化率		11.87%
6ヶ月変化率		11.51%
1年変化率		33.09%
3年変化率		54.44%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	55	3.2%
有価証券等		
ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA)	1,707	96.8%
その他	-	-
資産合計	1,762	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,762	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA) の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX

### 運用状況

#### ■資産構成比率 (2024.1末現在)

資産	構成比
国内株式	96.5%
国内株式先物	1.3%
国内合計	97.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2024.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	13.5%
2 輸送用機器	8.9%
3 銀行業	8.4%
4 機械	8.4%
5 卸売業	7.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.1末現在)

銘柄名	構成比
1 トヨタ自動車	5.0%
2 日立	4.4%
3 三菱UFJフィナンシャルG	3.9%
4 東京海上HD	3.8%
5 三菱重工業	3.4%
6 三菱商事	3.1%
7 日本電信電話	3.0%
8 三井住友フィナンシャルG	2.5%
9 富士フイルムHLDGS	2.3%
10 ダイワボウHD	2.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 110)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.1末現在)

<株式市況> 国内株式市場は上昇しました。2024年に入ってから海外投資家の日本株に対する注目度の高さに変化はなく、上旬から中旬を中心に海外投資家の大幅な買い越しが株価上昇をけん引しました。年初に発生した能登半島地震で、一部の工場では生産が停止したものの、順次再開が進んだこともあり株式市場への影響は限定的でした。下旬に入ると、高値警戒感から上値が重くなったものの、月間では大幅な上昇となりました。

<運用経過> 既存事業の構造改革や成長事業の動向に注目して銘柄を入れ替えました。また、自己株式の取得や配当増額など株主還元を通じて資本効率の改善が期待される銘柄に注目しました。具体的には、企業価値向上を課題として株主還元に取り組みエネルギー関連株や、米国の金融政策の転換によって環境改善が期待される住宅関連株、株主に対する情報開示を強化するなど経営姿勢が変化し、株主還元の改善も期待される専門商社株などのウエイトを引き上げました。一方で、注目した成長分野の業績の先行き不透明感が高まった印刷関連株や、株価上昇によって割安感が低下した専門小売株などを売却しました。このような売買や株価変動により、業種構成では卸売業、石油・石炭製品、建設業などの比率が上昇し、その他製品、情報・通信業、電気機器などの比率が低下しました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式 (D)

(2024年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の証券取引所上場株式を主要投資対象とします。ボトムアップアプローチを基本とし、各種投資指標から判断して割高と判断される銘柄を除外して投資します。

【投資対象となる投資信託】

ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 1月31日	164.36	-
2023年 1月31日	161.04	5.30%
2月28日	160.41	-0.39%
3月31日	165.41	3.12%
4月30日	168.11	1.63%
5月31日	177.21	5.41%
6月30日	186.86	5.45%
7月31日	188.35	0.80%
8月31日	186.40	-1.04%
9月30日	181.47	-2.64%
10月31日	174.24	-3.98%
11月30日	188.67	8.28%
12月31日	190.26	0.84%
2024年 1月31日	202.64	6.51%

3ヶ月変化率	16.30%
6ヶ月変化率	7.59%
1年変化率	25.84%
3年変化率	23.29%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	4	1.4%
有価証券等		
ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)	307	98.6%
その他	-	-
資産合計	311	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	311	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA) の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX

### 運用状況

#### ■資産構成比率 (2024.1末現在)

資産	構成比
国内株式	95.1%
国内株式先物	-%
国内合計	95.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2024.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	23.0%
2 情報・通信業	11.5%
3 機械	11.4%
4 化学	7.7%
5 輸送用機器	6.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.1末現在)

銘柄名	構成比
1 東京エレクトロン	5.7%
2 キーエンス	5.4%
3 ソニーグループ	5.4%
4 ディスコ	4.8%
5 任天堂	4.4%
6 デンソー	4.3%
7 リクルートホールディングス	4.2%
8 信越化学	3.3%
9 東京海上HD	3.2%
10 小松製作所	2.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 77)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.1末現在)

国内株式市場は上昇しました。2024年に入ってから海外投資家の日本株に対する注目度の高さに変化はなく、上旬から中旬を中心に海外投資家の大幅な買い越しが株価上昇をけん引しました。年初に発生した能登半島地震で、一部の工場では生産が停止したものの、順次再開が進んだこともあり株式市場への影響は限定的でした。下旬に入ると、高値警戒感から上値が重くなったものの、月間では大幅な上昇となりました。ベンチマークと比較して、業種では、卸売業や銀行業のアンダーウエートなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、底堅い業績動向などが好感された半導体関連銘柄や建設機械関連銘柄などがプラスに寄与しましたが、短期的な業績の伸び悩みが懸念された中小型銘柄などはマイナス要因となりました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界株式 (A)

(2024年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】外国株式

【運用方針】

日本を除く世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

大和住銀/T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比	円/ドル
2021年 1月31日	373.84	—	104.48
2023年 1月31日	379.87	5.58%	130.47
2月28日	387.02	1.88%	136.33
3月31日	384.30	-0.70%	133.53
4月30日	391.11	1.77%	134.13
5月31日	420.48	7.51%	139.77
6月30日	448.44	6.65%	144.99
7月31日	454.56	1.36%	140.97
8月31日	461.90	1.61%	146.20
9月30日	445.17	-3.62%	149.58
10月31日	434.04	-2.50%	149.51
11月30日	471.50	8.63%	147.07
12月31日	475.09	0.76%	141.83
2024年 1月31日	500.04	5.25%	147.55
3ヶ月変化率		15.21%	
6ヶ月変化率		10.01%	
1年変化率		31.63%	
3年変化率		33.76%	

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	39	2.4%
有価証券等		
大和住銀/T.ロウ・プライス 外国株式ファンドVA	1,630	97.6%
その他	—	—
資産合計	1,670	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,670	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### 大和住銀/T.ロウ・プライス外国株式ファンドVAの基本情報

【運用会社】三井住友DSアセットマネジメント

投資顧問：ティール・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク

【運用対象】日本を除く世界各國の株式

【ベンチマーク】MSCIコクサイ・インデックス (円換算)

### 運用状況

#### ■地域別内訳 (2024.1末現在)

地域別	ポートフォリオ構成比
西欧	18.4%
東欧	0.0%
中東	0.0%
アフリカ	0.0%
北米	69.0%
中米	1.5%
南米	0.0%
アジア	8.0%
オセアニア	0.0%
その他	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■業種別内訳 (2024.1末現在)

セクター	構成比
エネルギー	6.6%
素材	1.3%
資本財・サービス	6.5%
一般消費財・サービス	13.1%
生活必需品	3.0%
ヘルスケア	14.5%
金融	15.4%
情報技術	29.2%
コミュニケーション・サービス	6.0%
公益事業	1.3%
不動産	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.1末現在)

銘柄	国名	業種	構成比
1 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.9%
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.8%
3 NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	4.6%
4 ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	4.3%
5 APPLE INC	アメリカ	情報技術	3.3%
6 SCHWAB (CHARLES) CORP	アメリカ	金融	3.2%
7 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融	3.2%
8 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	2.4%
9 DANAHER CORP	アメリカ	ヘルスケア	2.2%
10 CONOCOPHILLIPS	アメリカ	エネルギー	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 72)

【運用会社による投資信託へのコメント】(2024.1末現在)

米国の金融政策は、ある程度の金融緩和に向かっていることを示唆していますが、インフレが緩やかながらもコロナ禍以前より高い水準で推移する、“粘り強い”ソフトランディング(軟着陸)を想定しております。また、インフレが再加速する可能性にも留意しており、現時点では景気後退よりも大きなリスクと考えています。他方、中国のマクロ環境は大幅に悪化していますが、中国には価値ある銘柄があると考えています。ただし、政策の不確実性が高まっており、下値が限定的と思われる銘柄を選別的に組み入れる所存です。また、歴史的に新興国にとってプラスである米国の金融緩和とサイクルに近づいている可能性を考え、中国以外に新興国株の組入れも検討しています。特異なアルファを生み出す機会が十分にあり、そのような機会がどこに存在するかを考えています。市場は比較的安定した上昇基調にあるように見えるかもしれませんが、不透明な状況が続く中、常にリスクを考慮して慎重にポートフォリオを運用してまいります。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社が一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界債券 (A)

(2024年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日  
【資産分類】世界債券  
【運用方針】  
日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。  
【投資対象となる投資信託】  
JDFワールド・ボンド・ファンドVA

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	16	2.7%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンドVA	591	97.3%
その他	—	—
資産合計	608	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	608	100.0%

### ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

ユニットプライス	前月比	
2021年 1月31日	117.35	—
2023年 1月31日	109.44	0.75%
2月28日	110.53	1.00%
3月31日	111.40	0.79%
4月30日	111.91	0.45%
5月31日	113.94	1.82%
6月30日	117.63	3.23%
7月31日	114.71	-2.48%
8月31日	116.87	1.88%
9月30日	114.80	-1.78%
10月31日	114.05	-0.65%
11月30日	118.14	3.58%
12月31日	118.63	0.42%
2024年 1月31日	120.08	1.22%
3ヶ月変化率	5.29%	
6ヶ月変化率	4.68%	
1年変化率	9.72%	
3年変化率	2.33%	

\*ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
\*前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンドVAの基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン  
【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債  
【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス (円ベース)

### 運用状況

#### 国別通貨別構成比率 (2024.1末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.0%	54.6%	42.2%
カナダ	1.8%	1.9%	1.8%
メキシコ	0.8%	3.4%	1.0%
南アフリカ	—	—	0.0%
日本	11.2%	10.9%	11.5%
オーストラリア	1.2%	1.3%	1.2%
ニュージーランド	0.2%	—	—
シンガポール	0.4%	0.6%	0.8%
中国	7.4%	7.1%	7.2%
マレーシア	0.4%	—	—
ユーロ	28.6%	31.7%	27.9%
英国	4.7%	5.9%	4.7%
デンマーク	0.2%	0.2%	0.3%

#### 組入上位10銘柄 (2024.1末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	—	2024/4/4	3.2%
2 アメリカ国債	2.875	2032/5/15	3.0%
3 メキシコ国債	7.500	2033/5/26	2.6%
4 ドイツ国債	1.700	2032/8/15	2.2%
5 フランス国債	—	2026/2/25	2.2%
6 アメリカ社債	1.750	2027/3/9	2.1%
7 スペイン国債	1.400	2028/4/30	1.8%
8 日本国債	0.800	2047/3/20	1.5%
9 日本国債	1.900	2042/9/20	1.5%
10 ドイツ国債	—	2029/8/15	1.4%

\*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 282)

修正デュレーション=平均7.55年 (ベンチマーク=同7.19年)

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日  
 【資産分類】バランス  
 【運用方針】  
 日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品に分散投資を行います。原則として為替ヘッジは行いません。  
 【投資対象となる投資信託】  
 フィデリティ・バランス・ファンドVA2

### ■ユニットプライスの推移



### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	17	3.0%
有価証券等		
フィデリティ・バランス・ ファンドVA2	584	97.0%
その他	-	-
資産合計	602	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	602	100.0%

(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

日付	ユニットプライス	前月比
2021年 1月31日	140.40	-
2023年 1月31日	153.01	2.41%
2月28日	156.01	1.96%
3月31日	155.88	-0.08%
4月30日	157.28	0.90%
5月31日	161.73	2.83%
6月30日	168.24	4.02%
7月31日	167.42	-0.49%
8月31日	171.02	2.15%
9月30日	168.05	-1.74%
10月31日	163.42	-2.75%
11月30日	171.73	5.08%
12月31日	172.64	0.53%
2024年 1月31日	178.46	3.37%
3ヶ月変化率		9.20%
6ヶ月変化率		6.59%
1年変化率		16.63%
3年変化率		27.11%

\*ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 \*前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・バランス・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信  
 【運用対象】日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品  
 【ベンチマーク】複合インデックス (円ベース)  
 ● TOPIX (配当金込) (25%)  
 ● MSCIワールド・インデックス (除く日本/税引前配当金込) (25%)  
 ● ブルームバーグ・グローバル総合インデックス (為替ヘッジなし、円ベース) (50%)\*

\* 2023年3月1日付で複合ベンチマークの構成指数の一部が変更になりました。

### 運用状況

#### ■株式 (2023.12末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・ファンズ・アメリカン・グロース・ファンド	29.5%
フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド (適格機関投資家専用)	24.7%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	6.0%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・スモール・カンパニーズ・ファンド	1.6%
フィデリティ・インスティテュショナル・米国株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	1.5%
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	0.9%
フィデリティ・ファンズ・サステナブル・アジア株式ファンド	0.3%
合計	64.5%

\*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位5ヶ国・地域 (2023.12末現在)

国名	構成比
1 アメリカ	42.9%
2 日本	24.5%
3 イギリス	6.2%
4 ドイツ	5.4%
5 カナダ	2.1%

\*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■債券・短期金融資産等 (2023.12末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・インスティテュショナル・グローバル・ボンド・ファンド (除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家販売制限付き)	29.4%
D L I B J 公社債オープン (中期コース)	4.8%
合計	34.2%

\*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位5通貨 (2023.12末現在)

通貨	構成比
1 アメリカ・ドル	46.4%
2 日本・円	24.5%
3 ユーロ	10.1%
4 イギリス・ポンド	5.5%
5 中国・元	1.4%

\*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの増減に加えて、積立金転移費用、貸付利息等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金転移費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ● 特別勘定について

## 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】短期金融商品

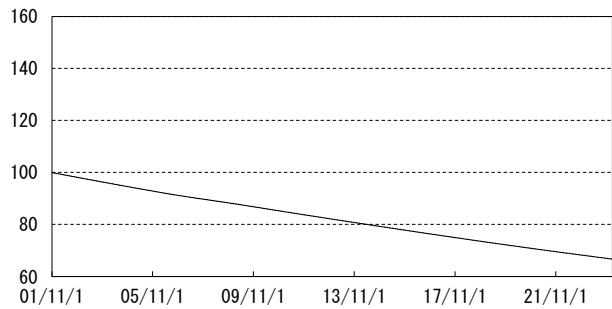
【運用方針】

円建ての短期金融商品を中心に投資します。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

【投資対象となる投資信託】

マナー・オープン 他

## ■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 1月31日	70.54	—
2023年 1月31日	67.96	-0.16%
2月28日	67.87	-0.14%
3月31日	67.76	-0.16%
4月30日	67.66	-0.15%
5月31日	67.55	-0.16%
6月30日	67.45	-0.16%
7月31日	67.34	-0.16%
8月31日	67.23	-0.16%
9月30日	67.13	-0.15%
10月31日	67.02	-0.16%
11月30日	66.92	-0.16%
12月31日	66.81	-0.16%
2024年 1月31日	66.71	-0.16%
3ヶ月変化率		-0.47%
6ヶ月変化率		-0.94%
1年変化率		-1.84%
3年変化率		-5.43%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	397	65.9%
有価証券等		
マナー・オープン	205	34.1%
その他	—	—
資産合計	603	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	603	100.0%

## ● 投資対象となる投資信託について

## マナー・オープン 他の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】円建て短期金融商品

【ベンチマーク】特に定めなし

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

### ■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項目	費用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.85%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

### ■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項目	適用	費用
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.85%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)

### ■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

#### ●保証期間付終身年金、確定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

#### ●特別勘定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

### ■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

\*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

## ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】

# 大和証券

Daiwa Securities

【引受保険会社】

# 東京海上日動あんしん生命保険株式会社

ホームページ <https://www.tmn-anshin.co.jp/>

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ

 **0120-155-730**

受付時間 平日9:00～17:00  
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)